

笑顔あふれるまち 飯南町

IINAN

い-なん

2024

4

No.232



YOHAKU ARIMASU
IINANCHO

あります 飯南町

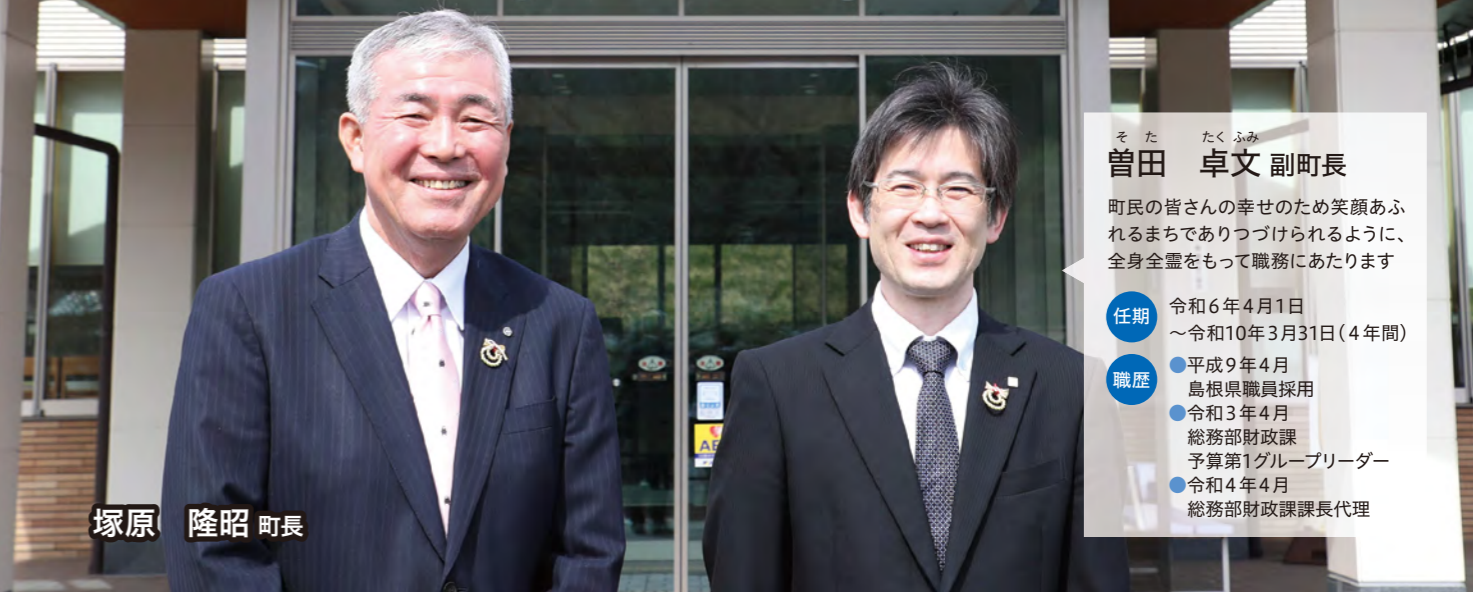
特集 令和6年度施政方針



定住支援業務をアウトソーシング

令和6年度施政方針

飯南町で暮らして良かった。 これからもこのまちに住み続けたいと思えるまちに。



塚原 隆昭 町長

そ た た く ふ み
曾田 卓文 副町長

町民の皆さんの幸せのため笑顔あふれるまちでありつづけられるように、全身全霊をもって職務にあたります

任期 令和6年4月1日
～令和10年3月31日(4年間)

職歴

- 平成9年4月 島根県職員採用
- 令和3年4月 総務部財政課 予算第1グループリーダー
- 令和4年4月 総務部財政課課長代理

最優先課題及び重点施策

第3次総合振興計画の策定

町民の皆さんが本町での暮らしの中で幸せを感じられる持続可能な地域をつくるため、住民、地域、団体、企業、行政など、まち全体でその思いを共有して推進する新たなまちづくりの指針「第3次総合振興計画」を策定します。

広島広域都市圏への参画

現在、広島広域都市圏は広島県、山口県及び島根県の3県にまたがる30市町で構成されています。少子高齢化や人

口減少などの急速な変化に対応するため、参画する市町が、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」を構築し、圏域経済の活性化と圏域内人口200万人の維持を目指しています。

脱炭素社会の実現に向けた取組

昨年3月に「飯南町脱炭素のまち宣言」を行い、「2050年に二酸化炭素の排出を全体として実質ゼロにすること」を目指す旨を公表し、本年1月に「飯南町脱炭素のまち推進計

令和6年は本町が誕生して20年目となる節目の年であり、私の任期も4年の最後の年となります。また、今年度は「総合振興計画」「総合戦略」の5カ年期間も最終年度です。就任された曾田卓文副町長や職員とともに、公約に掲げる5つの重点政策を意識し「笑顔あふれるまち飯南町」の実現を目指します。

公約に掲げる5つの重点的政策

- ①子どもたちの声が聞こえるまちづくり(少子化対策)
- ②安心・安全なまちづくり
- ③産業が元気なまちづくり
- ④定住を進めるまちづくり
- ⑤歴史・文化を感じるまちづくり



← 詳細はこちらをご覧ください

令和6年第2回飯南町議会定例会
町長所信表明・提案理由説明要旨

総合振興計画に掲げる主要施策

自治・協働

財政の健全化

過去に実施した本庁舎建設や拠点複合施設の整備、光ケーブル整備など、相次ぐ大規模事業により、公債費(借金)が増大しており、残高は、目標上限値の100億円を超える状況が続いていました。町債の繰上償還を継続し、併せて町債の発行も抑制していました。今年度も財源を確保し、効

子育て世代への支援

これまで、子育て世代への施策を推進してきましたが、さらなる支援の充実を図るため、今年度、病児・病後児保育施設の整備に着手します。病児・病後児保育に新たに取組み、仕事と子育ての両立が図られるよう、子育て世代の支援をさらに進めます。

果的な繰上償還の実施に努めます。これに連動し、財政状況の自由度を表す経常収支比率も改善傾向にあり、次期総合振興計画の策定に併せて、財政の健全化と事業の取捨選択に取り組みます。
※詳細は4～5ページ

教育・文化・子育て

教育環境の充実

これまで、保小中高一貫教育やICT教育など、本町ならではの魅力ある教育を推進してきました。2月には、飯南町教育環境基本方針検討委員会の作野広和委員長から教育長に答申をいただきました。今年度は、この答申を尊重しながら、より具体的な計画を定める「教育環境基本計画」の策定に着手します。

滞在型地域交流拠点施設の整備

県外、町外生が、親元を離れて飯南高校へ進学するには、地域との交流も踏まえた安心安全に生活できる環境の整備が必要です。来島地内への滞在型地域交流拠点施設の建築工事に着手し、来年3月の完成に向け事業を進めます。

産業

農業の振興

深刻な課題である「担い手不足」対応は、飯南町農業担い手支援センターが中心となり、担い手の育成を進めています。今年度は、「地域計画」の策定に着手します。10年後の農地集積や農業課題を、担い手を中心に話し合い、地域の誰もが農業経営や農地集積の課題を把握し、解決に向けた取組を継続的に支援します。園芸は、関係機関が協力し、パプリカ、サツマイモなどが推奨する品目の生産に係る支援を継続します。特にサツマイモは、近年、栽培面積、収量ともに伸びていますが、今年度、サツマイモ生産組合が取り組まれる県の産地創生事業を活用した「サツマイモの産地化」を支援します。

リースハウスの整備は、現就農者の生産拡大を図るため、新規ハウスを10棟整備する計画で、安心して就農できる環境整備に取り組めます。

畜産の振興

昨年の全国和牛能力共進会で、奥出雲和牛の品質レベルの高さが全国区となりました。さらなるブランド力強化、品質向上に向けた和牛改良を

促進し、町内産和牛の有利販売、畜産農家の所得向上につなげます。

飯南町堆肥センターの恒常的な経営赤字解決のため、保管効率の向上、販売方法の多様化に対応できるよう整備したペレット製造設備を可動し、経営改善につなげます。

有害鳥獣対策

令和3年度以降休止していた、国の補助事業による防護柵等の支援は、事業の再開を計画しています。今後は、地域の要望を伺いながら農地への獣害対策に取り組めます。

いっしょにゃんPAYの普及・利用促進

昨年12月にスタートした地域通貨いっしょにゃんPAYですが、3月末日現在の加入率は91.83パーセントです。住民健診の受診や長生き体操への参加、子育て世代への生活用品給付といった行政が発行するポイントの付与も予定しています。事業主体である商工会と共に、普及・利用促進に努め、町内での経済循環の活性化につなげます。

街路灯更新

昨年度の頓原地域に引き続き、赤来地域連担地の街路灯をLED街路灯に更新します。

保健・医療・介護・福祉

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種

コロナウイルスは、4月からB類疾病に位置付けられ、インフルエンザと同等の取扱となることから、ワクチン接種について、自己負担が生じます。国は、定期接種の開始を秋以降とされており、今後の接種方法等は、情報を確認次第、町民の皆さんにお知らせします。

地域医療の維持・充実

飯南病院の今年度の医師の体制は、引き続き島根県、島根大学などと、非常勤の先生方のご理解、ご協力により、診療体制を維持し、必要な医療を提供できることとなりました。

医療従事者の確保・育成は、病院事業の安定化・維持に必要不可欠です。今後も、町民の皆さんとともに地域医療の維持に取り組めます。

生活環境

「子育て世代が住みたい田舎」全国1位獲得

宝島社が発行する「田舎暮らしの本2月号」で、本町は人口1万人未満のまちのうち、

画」を策定しました。町民の皆さんに、計画の概要版を配布しましたが、住民、事業所、行政が一体となった取組推進のため、情報発信に努め、具体的な事業の検討を進めます。

公共交通の見直し

住みたい田舎ベストランキング「子育て世代部門」全国第1位を獲得しました。今後も、移住定住人口の増加に取り組めます。

公営住宅の整備

新たな公営住宅として、頓原地内に6戸建て2棟(単身用住宅)を建築します。

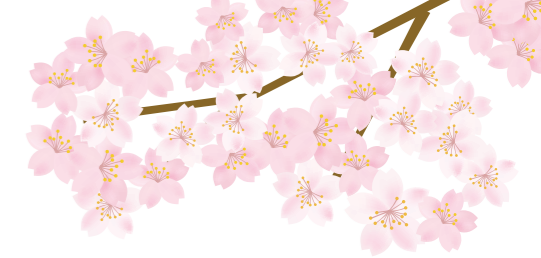
赤名地区のデマンドバスは、運行エリアを見直し、4月から来島診療所まで路線を延伸しました。上赤名・下赤名地区の皆さんは乗り換えなしで医療機関へ直行でき、利便性が向上します。

自動運転赤名線は、赤名地区の皆さんとの意見交換も実施し、今月から運行を一旦休止しました。自動運転車両の利活用の可能性を研究し、今後の方向性を決定します。

国道54号(三次～松江間)改良促進期成同盟会

国道54号の防災・老朽化対策を促進するため、沿線の三次市、松江市、雲南市の賛同を得て、国道54号(三次～松江間)改良促進期成同盟会を設立しました。

国道54号の改良促進を図るため、構成市町と連携しながら取り組めます。



総合振興計画に掲げる分野ごとに 令和6年度の主な事業を紹介します

[新]:新規事業 [拡]:拡充事業

自治・協働



[新] 民間企業の人材活用(国の企業人材派遣制度の活用)	560万円
地域おこし協力隊の活動	3,370万円
集落支援員の活動	1,917万円
定住対策に取り組む集落への補助金	1,000万円
地域づくりや若者女性の活動に対する補助金、人材育成講座	881万円

保健・医療・介護・福祉



老人ホーム入所措置	1億1,937万円
障がい者福祉の推進(医療費助成、介護・訓練等給付等)	2億4,872万円
医療従事者確保対策(学生への支援金、就業支度金)	1,630万円
各種予防接種の実施(インフルエンザ等)	1,675万円
各種健診の実施(健診、がん・歯科検診、乳幼児健診等)	3,659万円
介護保険事業計画・高齢者福祉基本計画・次期自死予防計画の策定	470万円
飯南病院の運営資金補助	3億5,773万円

教育・文化・子育て



[新] 滞在型地域交流拠点施設の整備	3億2,097万円
第3期子ども・子育て計画の策定	241万円
[新] 病児・病後児保育施設の整備	6,655万円
保育所の運営	3億682万円
[新] 不登校児童・生徒の支援	684万円
[新] 教育環境基本計画の策定	456万円
[新] 志々小学校の耐震診断・補強設計	978万円
町内産食材を活用した学校給食の魅力化	100万円
国民スポーツ大会(R12)に向けたソフトボールチームの支援	83万円
[新] 民俗資料館の今後の施設のあり方に向けた検討・調査	234万円

産業



特定地域づくり事業協同組合への支援	2,100万円
[新] 飯南米のブランド化に向けた農家への支援(エコロジー米の推進)	327万円
リースハウスの整備(10棟)	1億120万円
[新] 振興作物の支援(サツマイモ倉庫整備への支援)	3,068万円
農作物の鳥獣被害防止(防護柵等の支援)	1,417万円
琴引スキー場の機能強化	1億1,456万円
商店街街路灯の更新(赤名、上来島、野萱)	2,300万円
[新] 大しめなわ創作館の10周年記念イベント	121万円
い〜にゃんPAYの普及・利用促進	422万円

生活環境



[新] 定住相談の業務委託	601万円
セミオーダー住宅(1棟)建築	2,995万円
公共交通の確保(町営バス、デマンドバス等)	9,463万円
第3次公共交通計画の策定	275万円
ごみ処理施設運営負担金	1億1,460万円
町道改良工事	1億4,949万円
住宅店舗リフォーム補助金	301万円
[新] 町営住宅の建設(頓原)	2億5,908万円
消防団関連経費(消防団活動経費、車両更新)	5,956万円
[新] 八神地区の農業集落排水設備の更新	1,408万円
合併浄化槽新規設置(10基)	1,430万円

令和6年度 当初予算の概要

今年度の一般会計当初予算は、昨年度と比べ7億5千万円の増加となりました。増加の主な要因は、滞在型地域交流拠点施設や病児・病後児保育施設の建設費用のほか、来島拠点複合施設の建設など大規模事業の町債(借金)の返済が始まったことが挙げられます。支出が例年の予算規模を大きく上回ったため、財源の確保が極めて厳しく、基金(貯金)を取り崩すことで対応しています。

今年度は第2次総合振興計画の最終年度です。次期総合振興計画の策定を見据えて事業を見直し、限られた財源を効果的に活用していきます。

■問合せ/総務課(財政担当) ☎ 76-2211

一般会計・特別会計合わせて

112億9,513万円

町民1人当たり・1世帯当たり(令和6年4月1日現在)

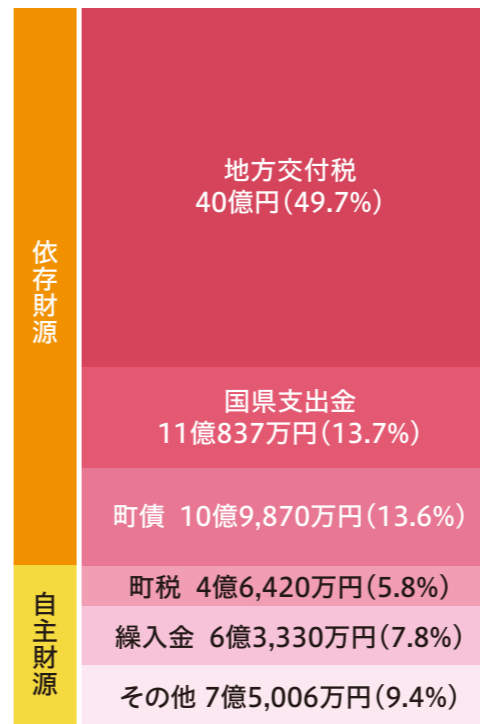
●人口:4,392人	●世帯:1,978戸
[使用する費用]	[負担する税金]
1人当たり:257万円	1人当たり:11万円
1世帯当たり:571万円	1世帯当たり:23万円

前年度比
6.3
ポイント増

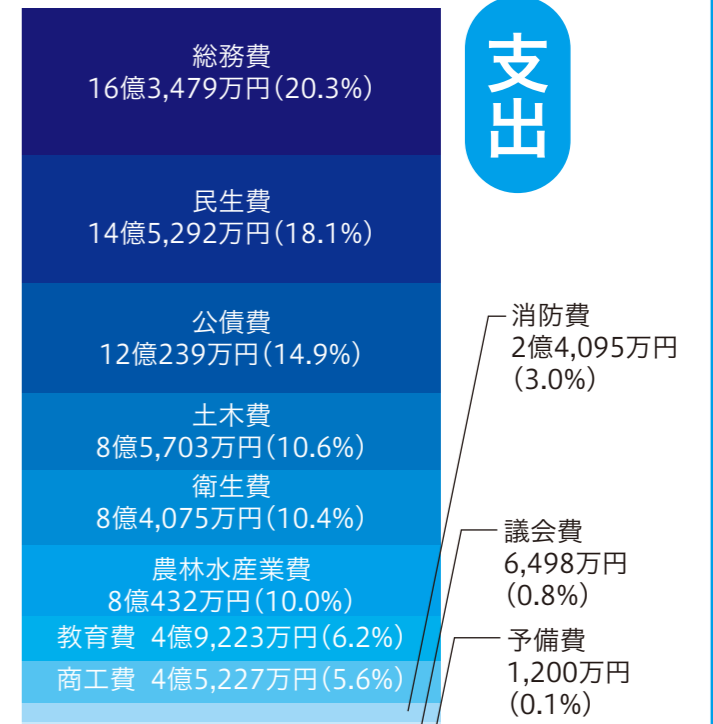
会計名	予算額	前年度比
一般会計	80億5,463万円	10.2ポイント増
国民健康保険事業	6億2,031万円	5.0ポイント減
後期高齢者医療事業	1億8,515万円	0.7ポイント増
介護保険サービス事業	3,811万円	0.9ポイント減
病院事業	14億728万円	8.7ポイント減
簡易水道事業	4億996万円	7.5ポイント増
下水道事業	5億7,970万円	12.1ポイント増
合計	112億9,513万円	6.3ポイント増

一般会計当初予算 80億5,463万円

収入



支出



地方交付税は国の制度改正による増加等を見込んで昨年度から1億5千万円増加の40億円を、町債(借金)は大規模事業の実施により昨年度から3億7千万円増加し、11億円の発行を予定しています。基金(貯金)の取り崩しは、支出の増加により昨年度から1億9千万円増加し、6億3千万円となりました。

今年度を実施する予算規模の大きな事業は、総務費の滞在型地域交流拠点施設整備(3億2千万円)のほか、民生費の町立保育所運営費(3億1千万円)、土木費の町営住宅建設費(3億2千万円)などがあります。公債費(借金の返済費用)は、昨年度から1億5千万円増加し、総額12億円となり、返済資金の調達は厳しい状況が続いています。



自動搾乳機の導入で搾乳が大幅に効率化

令和3年度に着工された(株)来島牧場の増頭を目的とした、畜舎等建設整備及び機械整備が完了し、竣工式が関係者出席のもと開催されました。

この度の施設・機械整備は国の事業を活用した大規模な整備。町も支援を行ってきました。今後は約400頭の増頭を予定されています。

今後、同社は生乳出荷や飯南町和牛改良組合等と連携した受胎移植事業などを推進。本町の畜産振興にも大きな力となることから、町も今後必要に応じて支援していきます。

来島牧場竣工式

3月22日(金)



同社の秋森代表取締役(右)と塚原町長

飯南町ふるさとの森にある「森のホテルもりのす」と「キャンプ場」の指定管理期間の満了に伴い、昨年度末まで指定管理者であった(株)Laut(ラウ)に有償譲渡することで合意。基本合意書を締結しました。

4月1日からは、同社が民間のノウハウを活用し、新たな形で運営されます。

【譲渡施設】

- ①森のホテルもりのす
- ②キャンプ施設及び周辺設備

※土地譲渡なし(町所有)

森のホテルもりのすと
キャンプ場を譲渡

3月27日(水)



同時に参画する川本町長(右)と広島市長(中央)

広島県、山口県及び島根県の3県にまたがる市町で構成される「広島広域都市圏」に今年度から本町と川本町が参画。3月28日に、広島市役所で連携協約を締結しました。

参画に伴い、観光プログラム の充実、地元企業における若者の雇用促進、交流・移住・定住促進などを主として76の事業で連携します。

今後、本町と広島市、そして圏域内の市町との新たな連携により、さらなる産業振興や関係人口の構築を図ります。

広島広域都市圏に
参画

4月1日(月)~



飯南町の魅力発信に努めます。よろしくお祈りします

本町と包括連携協定を締結している(株)AKOMEYA TOKYOから、国の企業人材派遣制度(地方公共団体が民間企業の人材を受け入れ、その人材が有する専門知識・人脈・ノウハウなどを活用し、地域活性化の課題解決を図る総務省の制度)を活用し、同社の社員である神谷晴子氏を派遣していただきます。

今後、外部の視点や民間の経営感覚、スピードを得ながら、情報発信や地域活性化の課題解決を図るとともに、町職員の資質向上にもつなげていきます。

民間企業の人材を
活用

4月1日(月)~



被災地の高齢者ケアのため
(有)いおりが職員を派遣

元日に発生した「令和6年能登半島地震」の被災地である石川県に、(有)いおりが3人の職員を派遣されました。

今回の派遣は、島根県を通じて厚労省からの派遣要請に応えたもの。現地では、避難者の多くが高齢者で介護人材が不足している1・5次避難所(仮設住宅等)に入居するまでの間の避難所での高齢者等のケア業務にあたられました。

- ・鹿田明浩さん
- ・鹿田実永さん
- ・井上弥玖さん



各家庭の自慢の味を
おむすび自慢

頓原公民館が主催する「飯南町のお米で私のおむすび自慢」が、交流センターとんぼらで開催されました。

当日は、参加者がそれぞれ持ち寄った露味噌や香茸、たくあんなどの具材を使って、各家庭ならではの「おむすび」を作り、一人一人がこだわりを紹介。その後、全員で試食しました。

試食では、具材だけでなく大きさや形の異なるおむすびを食べ比べ。お腹も満たされ、参加者同士の話も盛り上がりまりました。

作っている最中もお互いの具材が気になります



3.16
土

作っている最中もお互いの具材が気になります



3.11
月~17日

出発前には、3人を町長が激励



縁結びボランティア活動
本間美智子さんに知事感謝状

本間美智子さん(花栗)は、島根県全域の縁結びボランティア「島根はつぴいこーでいねーたー」(愛称「はぴこー」として、独身者の結婚相談、出会いの場の創出などに貢献。その功績に対して、丸山島根県知事から感謝状が贈呈されました。

本町では、「はぴこー」として6人が登録され、町の実施する縁結び支援事業でも「ご縁サポーター」として活躍していただいています。



本間さんは平成28年から「はぴこー」として活動されています

3.20
水



「山陰子ども書道展」
町内から3人が最優秀賞

山陰中央新報社が主催する「第21回山陰子ども書道展」の表彰式が松江市で開催され、町内から次の3人が最優秀賞を受賞されました。

【受賞者(敬称略)】

- ・藤原 葵(頓原小4年)
- ・松元 咲(頓原中1年)
- ・渡邊 陽南(頓原中2年)

※受賞部門は前年度の学年です。

この書道展には出雲、石見、鳥取の3ブロックから1574点が応募。小学校1年以下から中学校3年までの9部門で、各10点が最優秀賞として選出されました。



左から藤原さん、松元さん、渡邊さん

3.25
月

令和6年度 飯南町行政機構・職員配置表

町長 塚原 隆昭 副町長 曾田 卓文 教育長 大谷 哲也

議会事務局 電話76-2190 【事務局長】藤原一也 (主な仕事) 議会運営・監査委員の補助事務		
出納室 電話76-2215 【会計管理者】高木ゆかり (主な仕事) 出納事務・決算・債券運用		
総務課 電話76-2211 【課長】永井あけみ 【課長補佐】三島光暁		
総務担当	竹田佑子	(主な仕事) 例規・庶務・秘書・行政改革
行革・情報担当	山本友梨子・日高 魂	(主な仕事) 選挙・情報・入札
財政担当	大谷剛史郎・深石純生	(主な仕事) 予算・町債・基金・地方交付税
派遣職員	田村 正(雲南市)・難波慎司(一部事務組合)・三上大輔(雲南広域連合)・小野祥寛(島根県市町村課)	
防災危機管理室 【室長】田村 剛		
防災担当	渡邊信太郎	(主な仕事) 消防・防災
まちづくり推進課 電話76-2864 【課長】藤原清伸 【課長補佐】前川由紀		
地域振興担当	安部亜裕子・吾郷紘平・八幡 輝	(主な仕事) 地域振興・ふるさと納税・飯南高校支援・志津見ダム周辺地域活性化対策
定住担当	石川 理・草間美里	(主な仕事) 定住対策・地域おこし協力隊・人材確保支援センター
企画担当	岡田祐也・森山雄三	(主な仕事) 企画・総合振興計画・地方創生・脱炭素・過疎対策・広域行政・土地利用
情報担当	三島啓太・神谷晴子(AKOMEYATOKYOからの派遣職員)	(主な仕事) 広聴広報・統計
産業振興課 電話76-2214 【課長】深石尚志 【総括監】本間康浩 【課長補佐】澤田和彦 (農業委員会事務局長兼務)		
農林・畜産振興担当	塚原 誠・星野 崇・石川 健・岡田季樹・落合亮仁・景山瑛太・石田壮太	(主な仕事) 農業振興・特産園芸・果樹振興・ほ場整備・畜産振興・有害鳥獣対策・林業振興
商工・観光振興担当	信藤 晃・和田泰裕	(主な仕事) 観光振興・都市交流・商工振興・新産業・企業誘致
住民課 電話76-2213 【課長】野津史昭 【課長補佐】渡邊博司 (来島支所長兼務) 【課長補佐】後長隆哉		
税務担当	熊谷かおり・福永柗真・吉岡文瑠	(主な仕事) 税務・国保料賦課徴収・後期高齢者保険料賦課徴収
町民生活担当	湯立美智恵・石橋早紀	(主な仕事) 環境衛生・戸籍・マイナンバー・地域交通・交通安全・窓口事務
来島支所 電話76-2393	渡邊典子 (主な仕事) 国民年金・窓口事務	
こども未来推進室 【室長】野津史昭 (兼務)		
子育て支援担当	二階堂了麻・武田 晃(島根県からの派遣職員)	(主な仕事) 子育て支援・保育所事務・児童手当
派遣職員 (社会福祉協議会)	桜ヶ台保育所 [所長] 原 美佳・石田裕美・山根寛子 赤名保育所 [所長] 景山直美・飯島恵美子 来島保育所 奥野陽子・岡田雅子	
建設課 電話76-3942 【課長】森山 篤 【課長補佐】奥野憲孝		
土木担当	安田健一・吉井健司・景山慎也・松原芳輝	(主な仕事) 公共土木・農林土木・災害復旧・公営住宅
上下水道担当	山内孝之・朝津直哉・小林 亘	(主な仕事) 水道・下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽
教育委員会 電話76-3944 【次長】石飛幹祐 【課長補佐】関島哲郎		
学校教育担当	景山貴文・藤原さくら・宮川笙子 郷原秀文(県教育委員会からの派遣職員)	(主な仕事) 庶務・教育行政総括・学校教育事務・給食会
社会教育担当	浅原美彩・難波 淳(県教育委員会からの派遣職員)	(主な仕事) 社会教育・社会体育・人権教育・文化振興・文化財保護

頓原基幹支所 電話72-0311 【基幹支所長】長島淳二 (志々支所長兼務)		
町民生活・土地改良担当	三上 翔・渡部カオル	(主な仕事) 窓口事務・土地改良区
地籍調査担当	山田弘幸	(主な仕事) 地籍調査
志々支所 電話73-0001	三嶋一生 (主な仕事) 窓口事務	
保健福祉課 電話72-1770 【課長】安部 農 【課長補佐】福田峰子 【課長補佐】小玉千恵		
保健・医療担当	田原理映	(主な仕事) 国保給付・住民健診
	山戸由紀・石飛悦子・田村素子 吉田育枝・空岡 舞・三島亜美	(主な仕事) こども家庭センター(妊娠期から母子乳幼児期保健)、 青年期・壮年期・高齢期保健・予防接種・食育・健康づくり・ 住民健康管理・精神保健
地域包括支援センター	[看護師長] 穴戸陽子・嘉田将典・石飛悦子(兼務)・田村素子(兼務)	(主な仕事) 高齢者の総合相談・介護予防・認知症予防
福祉担当	林 泰宏・景山雄斗	(主な仕事) こども家庭センター(児童福祉)・福祉の総合的事務・敬老事業・ 介護保険・民生児童委員会・乳児こども医療・後期高齢者給付
地域包括ケア推進担当	[事務局] 安部 農(兼務)・福田峰子(兼務)	(主な仕事) 医療対策・医療等従事者確保対策・ 保健医療介護福祉の連携・地域包括医療ケア推進
福祉事務所 電話72-1773 【所長】門脇貴子		
福祉担当	三島智恵・海田竜一・三宅一樹	(主な仕事) 生活保護・障がい者(児)福祉・母子(寡婦)父子福祉

飯南病院 電話72-0221 【院長】角田耕紀 【副院長】三上隆浩 来島診療所 電話76-2309			
診療部	【診療部長】松本賢治 【来島診療所長】榎野貴文	文田昌平・原田愛子・馬淵寛也	(主な仕事) 診療・施設医・学校医・産業医
看護部	【看護部長】石橋奈美 【病棟看護師長】湯丹百合子 【外来看護師長】三島由美	藤原真理子(病棟主任)・市山雅史(外来主任)・大上千恵・米原美水 木村純子・三嶋圭子・明見葉子・景山友美・伊藤美亜・長岡恵美 坪倉千恵・舛田由里香・高橋綾子・熊谷美樹・若見桃子・常松沙弥 山本奈那・森山菜美・井上瑠力・宇治田拓美・渡邊真綾・宇治田彩花 黒角梨奈・加藤佳穂・吉中 卓・吉川美和・岡 夢乃・若槻暢倭 渡邊洋子	(主な仕事) 看護・診療介助
医療技術部	【医療技術部長】角田耕紀(兼務) 【医療技術部次長】大坂健一	田部裕子・古林恵美・齋藤正弥・奥野裕衣・高橋伶奈 森山智博・上田哲也・安田一平・那須有美子・伊藤久実	(主な仕事) 薬剤・栄養・放射線・検査・ リハビリ・歯科衛生
地域医療部	【地域医療部長】田中多美		(主な仕事) 地域連携・健康診断
管理部	【事務局長】高橋克裕 【課長補佐】藤原将洋・田邊郁也		(主な仕事) 庶務・会計・医事・施設管理
訪問看護ステーション 電話72-1781			
		内田亜紀・影山寛美・長岡嵩斉	(主な仕事) 訪問看護・訪問リハビリ

新規採用職員

4月1日付で、次の7人を採用しました。



日高 魂
総務課



八幡 輝
まちづくり推進課



吉岡文瑠
住民課



渡部カオル
頓原基幹支所

吉川美和 (飯南病院看護師)
岡 夢乃 (飯南病院看護師) ※11ページに紹介記事
若槻暢倭 (飯南病院看護師)

派遣職員紹介

4月1日付で、島根県から派遣された職員を紹介します。



武田 晃
こども未来推進室



難波 淳
教育委員会
(派遣社会教育主事)

4月1日付で、(株)AKOMEYA TOKYOから派遣された職員を紹介します。
神谷晴子 (まちづくり推進課) ※7ページに紹介記事

退職者

3月31日付で、次の職員が退職しました。

那須忠巳 (総務課) 安田香阿里 (飯南病院)
那須和博 (議会事務局) 馬淵沙弥佳 (飯南病院)
森口由美子 (飯南病院)

healthycolumn
健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

飯南病院
便り

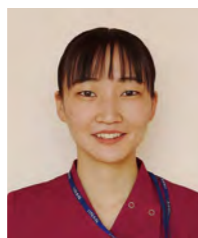
4月から働く職員を紹介します



看護師
若槻 暢優

飯南高校卒業後、出雲市にある島根県立大学に進学しました。

高校時代は、生徒会活動を通して町民の皆さんと協力する機会や、町民の皆さんの温かさに触れることができました。これからは、患者さんの状態に合わせた看護が提供できるように努めてまいります。よろしくお願いいたします。



看護師
岡 夢乃

飯南高校卒業後、益田市にある看護学校へ進学しました。生まれ育ったまちで働けることをうれしく思います。これから患者さんやご家族の思いに寄り添い、一人一人にあった看護を提供できるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



看護師
吉川 美和

これまで飯南病院の外来で、町民の皆さんにお会いしてきましたが、この度、正規職員として採用され、働くことになりました。今まで以上に町民の皆さんのサポートができるよう頑張ろうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

保健福祉センター
便り

「こどもまんなか 児童福祉週間」～子ども家庭庁～

こどもや家庭、こどもの健やかな成長を国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「こどもまんなか 児童福祉週間」(5月5日～5月11日)と定められています。



【令和6年度「こどもまんなか 児童福祉週間」標語】

すきなこと どんどんふやして おおきくなあれ
(加藤 共泰さん 6歳 香川県)



本町は4月から『こども家庭センター』を設置しました。妊産婦や乳幼児に関する相談を受け付ける「子育て世代包括支援センター」と児童虐待など困難を抱えた家庭に対応するための窓口の「子ども家庭総合支援拠点」の2つを統合。全ての妊産婦、子育て世帯、子ども本人に対する包括的な相談支援を行います。

- 相談時間 平日8時30分～17時15分(土日祝祭日、年末年始を除く)
- 場 所 飯南町保健福祉センター
- 連絡先 ☎72-1770

こんにちは
中山間地域研究
センターです。

養老孟司先生の講演会を開催

●中山間地域研究センター ☎76-2025

<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



東京大学名誉教授の養老孟司先生には、平成16年から中山間地域研究センターの特別顧問にご就任いただいております。

コロナ禍を経て、3年越しの念願であった講演会の開催が決定しました。

先生のご経験をふまえて、学ぶことの大切さ、生涯にわたり好奇心・探究心を持ち続けることのすばらしさをお話いただきます。ぜひお出かけください。

- 講演テーマ 中山間地域の活性化のヒント～探究心を持ち続けることの大切さ～
- 開催日時 令和6年5月26日(日) 10時～11時30分
- 場 所 島根県中山間地域研究センター2階 大会議室
- 定 員 100名(要事前申込・入場無料)
- 申 込 下記連絡先に電話(平日9時～17時。4月25日より受付開始)
☎76-3858

問合せ 企画振興スタッフ ☎76-3858

【養老孟司先生のプロフィール】
1937年 神奈川県鎌倉市生まれ。1962年 東京大学医学部卒業。解剖学を専攻。1995年 東京大学医学部教授を退官。東京大学名誉教授。2004年 島根県中山間地域研究センター特別顧問に就任。著書に「唯脳論」(青土社)「無思想の発見」(筑摩書房)「バカの壁」「死の壁」「超バカの壁」(新潮社)など多数。昆虫好きで「私の脳はなぜ虫が好きか?」「養老孟司のデジタル昆虫図鑑」(日経BP社)など昆虫に関する書籍も多い。

飯南町では、各地域の支援にあたる「集落支援員」と、町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」が活動しています。

住みよいまちへ

集落支援員

集落支援員として次の6人が、地域の実情と課題を把握し、住民と行政の協働のもと、コミュニティ機能の維持・活性化を推進しています。

- 赤名地区 金藤正道
- 谷地区 澤田定成
- 来島地区 朽木宜夫
- 頓原地区 那須久三
- 志々地区 桐原 敏
渡部佳子

まちを元気に!

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊として次の5人が、受入団体と協力し、地域の担い手となり「新しい風」を吹き入れ、さまざまな活動を通して地域の元気づくりに取り組んでいます。

- 飯南高校魅力化担当 永瀬友真
- 飯南町さつまいも生産者協議会担当 藤谷さゆり
- 産直市ばたんの郷担当 松尾由貴
- 事業承継型ジビエ加工担当 正戸あゆみ
(グランディア赤名峠(株))
- 谷地区地域づくり担当 十鳥美代子





求人情報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 ☎76-2864 (役場まちづくり推進課内) ※表示のない市外局番は「0854」です

(福)飯南町社会福祉協議会 76-2170	
保育士(臨時職員・随時募集) 特になし	フル 2人
介護職(随時募集) 特になし	フル・パート 各3人

(株)あゆみ 72-9373	
介護職員(あゆみの社) 59歳以下、介護福祉士、普通自動車運転免許	フル 1人
介護職員(あゆみの社) 普通自動車運転免許	パート 1人
世話人(あゆみの里) 普通自動車運転免許	パート 1人

(特非)あかぎ福祉会(あかぎファミリーケアセンターまんてんの家) 76-9330	
介護職(非常勤職員) 64歳以下、普通自動車運転免許	フル 2人

(株)ウミライ 0852-23-1881	
販売技術職(営業・整備士) 59歳以下、普通自動車運転免許	フル 1人

ヤンマーアグリジャパン株式会社中四国支店 086-428-5151	
事務職(来客対応・パソコンによる資料作成など) 普通自動車運転免許、パソコン基本操作	フル 1人

JA全農Aコープ(株)Aコープエルシー店 72-1221	
食品スーパーマーケット販売員 特になし	パート 2人

(株)一福 72-0277	
調理員 44歳以下	フル 1人
ホールスタッフ 特になし	パート 3人

中国化成工業(株)島根工場 76-2258	
一般事務 59歳以下、パソコン基本操作	フル 1人

(有)中山板金 76-2616	
建築板金・屋根工事 59歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人

(株)堀江運送 72-0102	
トラック運転手・配送員 普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人

松田建設(株) 76-2361	
一般土木作業員 64歳以下、普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人
重機オペレーター 64歳以下、その他の定置・建設機械の運転関係資格、 車両系建設機械(基礎工事用)運転技能者、 普通自動車運転免許(AT限定不可)	フル 1人

地域おこし協力隊(大しめなわ創作館) 76-2214	
伝統文化の継承、創作しめ縄を通じた「しめ縄」産業の拡大など (担当:産業振興課) 20代~40代で、3大都市圏と都市地域等から飯南町に住民票を異動することができる人	フル 1人

地域おこし協力隊員(飯南高校) 76-2864	
魅力化コーディネーターとして、 特色ある教育の推進、生徒募集活動など (担当:まちづくり推進課) 20歳以上で、3大都市圏と都市地域等から飯南町に住民票を異動することができる人	フル 1人

低所得世帯物価高騰 緊急支援給付金を支給

住民税均等割のみ課税世帯
●支給額 1世帯あたり10万円
●対象世帯 ①令和5年度住民税均等割のみ課税世帯
●子どもがいる世帯への加算

●支給額 児童1人あたり5万円
●対象世帯 令和5年度住民税非課税世帯、均等割のみ課税世帯で次の条件にあてはまる世帯
②18歳以下の児童がいる世帯※加算対象児童(平成17年4月2日〜令和5年12月1日生まれ)
③18歳以下の児童と別世帯だが生計が同一の場合
④令和5年12月2日〜令和6年8月31日に出生した新生児を含む世帯

●申請方法
①②の世帯には3月初旬に発送した確認書の返送をお願いします。
③④の世帯に該当する場合は、住民課までご連絡ください。
●申請期限 令和6年8月31日

問合せ
住民課 ☎76・2213



町ホームページ

協会けんぽ加入の 被扶養者の皆さんが 受診できる健診

40〜74歳の被扶養者の皆さんが受診できる健診は、協会けんぽの特定健康診査です。
協会けんぽの特定健康診査は、協会けんぽから費用補助があります。

健診の申込は、ご希望の健診機関に直接予約をお願いします。受診の際には「受診券」と「保険証」が必要です。※受診券は、4月に自宅にお送りしています。

健診実施機関や受診方法は、協会けんぽ島根支部ホームページからご確認ください。

問合せ
全国健康保険協会(協会けんぽ)
島根支部 保健グループ
☎0852・59・5204



協会けんぽ島根支部

自動車税種別割の納付

自動車税種別割の納期限は5月31日(金)です。納期限までの納付をお願いします。

納税通知書とスマートフォンやパソコンがあれば、QRコードなどを利用した便利なキャッシュレス納付も利用できます。

納税通知書が届かない場合は、お問い合わせください。

●納税通知書発送日 5月1日(水)

●納付方法

- キャッシュレス納付(スマートフォン・クレジットカード・インターネットバンキング)
 - コンビニ支払い
 - 金融機関、島根県東部県民センター窓口支払い
- ※期限までの納税が難しい人は、一定の要件に該当すれば、申請により納税の猶予を受けられる場合があります。詳しくは島根県の県税のホームページを確認してください。

問合せ
島根県東部県民センター
収納管理課
☎0852・32・5629

狂犬病予防注射を実施します

時間と場所を確認のうえ、会場にお越しください。(予約不要)
問合せ
住民課 ☎76・2213

場所	時間	場所	時間	場所	時間
交流センター都加賀	9:15~9:25	奥真木公民館	9:10~9:20	向谷集会所	9:10~9:20
太田公会堂	9:35~9:45	木工創作等研修館	9:30~9:35	板屋谷集会所	9:30~9:45
大万木山麓自治会館	9:50~10:00	たかばし改善センター	9:50~10:00	肉戸ケフ様宅 前	9:55~10:00
宇山小和田公会堂	10:10~10:20	琴麓集会所	10:05~10:10	北野下公民館	10:05~10:15
門会館	10:25~10:40	安江会館	10:15~10:25	栗屋谷入り口付近	10:20~10:25
長谷公民館	10:50~11:00	潜岩バス停付近	10:30~10:45	飯南自動車 裏付近	10:30~10:40
佐見会館	11:10~11:20	来島交流センター	10:50~11:05	農林会館	10:45~11:00
琴引公会堂	11:30~11:40	野萱集会所	11:10~11:20	森島建設(株) 前	11:05~11:15
交流センターとんぼら	13:00~13:25	奥野又督様宅 前	11:30~11:40	難波祐規様宅 前	11:25~11:40
獅子倶楽部	13:40~13:45	加田の湯	13:00~13:15	景山誠二様宅 前	13:00~13:05
谷川・南公民館	13:55~14:00	戸谷茂樹様宅 前	13:30~13:40	山本晃二様宅 前	13:10~13:15
さつき会館	14:05~14:10			福田自治会館	13:20~13:30
角井自治会館	14:25~14:40			塩谷下集会所	13:40~13:50
				谷高齢者コミュニティセンター	13:55~14:10

森林セラピー通信 森のたより

(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

普通救命講習を実施

本格的なグリー
ンシーズンに
前に、町内ガイド
団体を対象に「普
通救命講習」を実
施しました。



飯南消防署の
職員を講師に迎
え、コロナ後の普
通救命の手順の
おさらいです。驚いたのは、現在は人工
呼吸を省略して良いということ。それ
よりも胸骨圧迫を優先し、近くにある
場合はAED(自動体外式除細動器)を
積極的に利用するという事でした。

通報から救急車が到着するまでの時
間についても教わりました。全国平均
は9分、雲南圏域では12分、そして森林
セラピーロードがある飯南町ふるさと
の森までは、最低でも20分はかかるこ
と。つまり、救急車の到着まで最低
でも20分間は胸骨圧迫と意識の確認を

繰り返すこととなります。
実際に胸骨圧迫を行ってみると、
中々に重労働ですが、それが分かるこ
とが大事だと思っています。
実際の事故に遭遇した際に、焦らず
適切な対応を行う上でも、平時の備え
が重要だと改めて感じました。

セラピーロード 新エリア

今回は県有林のきのこ園近くに新し
くハンモック体験もできる新エリアを
増設。地ごしらえを行っていただいた
上に、真新しいウッドチップをたっぷり
りと敷き詰め、フカフカのロードが完
成！エリアには、ベンチと椅子も常設
してあるので休憩にも最適。参加者14
人でひたすらチップを運ぶ運ぶ。小春
日和の森で清々しい汗をかきました。
もちろん自由に利用していただける
のでぜひ足を運んでみてください。



楽しい読書 図書館探検 飯南町立図書館

第66回 こどもの読書週間

期間 4月23日(火)～5月12日(日)
標語 「ひらいてワクワクめくってドキドキ」

●中央図書館 ☎76-2160
●頓原図書館 ☎72-0301



●オリジナル「このぼり」展示

飯南高校美術クラブさんと参
加者の子どもたちと一緒に、大き
な布にこのぼりを描きました。
5月いっぱい、中央図書館内に
飾っています。

●展示「しかけ絵本」

ワクワク楽しい「しかけ」いっば
いの絵本を、じっくりお楽しみく
ださい。

展示期間

頓原館 4月23日(火)～
中央館 4月24日(水)～

●クイズ「このキャラだれ？」

絵本に出てくるキャラクターの
シルエットクイズです。
いくつ答えられるか、チャレン
ジしてみてください。

※問題はカウンターにて配布し
ています。

●子ども向け雑誌リユース

保存期間が過ぎた子ども向け
雑誌を差し上げます。
※当館では雑誌の保存期間を2
年間としています。

「こどものとも」などの読みも
のがあります。ご希望の方はお早
めに。

※予約・取り置きはできません
期間 4月24日(水)～無くなり
次第終了

場所 中央図書館

●野鳥講座

(頓原公民館とのコラボ企画)
日時 5月15日(水)10時～
会場 交流センターとんぼら
だんだんサロン
講師 春日美知さん

短歌

頓原公民館短歌教室 三月詠草



夕餉時に妻と息災喜びつ缶とコップでまずは乾杯

安部 徳則

すれ違うたびごと胸のときめきて視線そらした校舎は跡地

石川 隆

ちゃんと冬しなかつたのに梅白し窓の向こうにちゃんとまた春

大野 順子

如月の石見銀山町角に木囲い自販機亡き義兄想う

奥田 博昭

忘れおり植えたことすら春の陽に金の輝き咲く墓道に

景山 牧栄

まだ寒い梅咲き桜のたより聞くころときめく春の足音

景山 稔

亡き夫の好物やくせさ話しつつ娘とお茶を飲む午后のひと時

片岡 千鳥

ふきのとう鶏卵大の姿して採るには哀れひとつきりにて

塩田美代子

冬を越す堀コタツ用の炭・たどん 春まだ遠しと軒下に運ぶ

千葉トミエ

雪もなく静かに春待つ里山よ心うるおす深き彩り

本間 啓美

山道に貼り付く落ち葉踏みつけて走るそばから春立ち上がる

烏田 勝信

すこやかに

3月届出分

新生児 届出人 地区
那須 莉愛ちゃん 貴 宏(長谷)
星野 紬希ちゃん 悠 (頓原)

やすらかに

3月届出分

お名前 親族 地区
後長 スミエ 様 (89) 陽 治(角井)
戸田 文恵 様 (91) 憲 文(奥畑)
倉橋 昭子 様 (95) 宣 (野萱)
叶松 馨 様 (95) 忍 (上赤名)
岩崎 保之 様 (62) 達 也(赤名)
讃岐 達之 様 (94) 森脇幸夫(都加賀)
深石 丸恵 様 (93) 賢 一(奥畑)
坂根 タマノ 様 (98) 明 人(上赤名)



今月の人権標語

令和5年度 「家族でつくる人権標語」優秀作品から

「イイネ！」より
本当の笑顔が見たいよね

赤来中学校 1年 加瀬部 敬一郎さん
家族名 真莉さん

標語に込められた想いをみんなで
意識し、差別や偏見のない明るいま
ちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

「定住支援業務をアウトソーシング」
4月1日から「飯南町定住支援
センター」ごめたで飯南町」と
して業務を開始した「NPO法人
里山コミッション」職員の田中稔さ
ん。笑顔で移住者の相談に乗って
います。

本町は、移住・定住希望者から
の相談やニーズに対して、より柔
軟に対応するため、移住・定住支
援業務を、同法人へ外部委託しま
した。今後は同法人が中心となり
業務を推進します。



詳しくは
町ホームページ

2024
5

まちのスケジュール

📖 教育 + 健康・保健 ✨ 文化・体育 💧 その他

- 1 水 + ほっと。Café(来島保健センター)
- 2 木
- 3 金 憲法記念日
- 4 土 みどりの日
- 5 日 こどもの日
- 6 月 振替休日
- 7 火
- 8 水 + ほっと。Café(来島保健センター)
- 9 木
- 10 金
- 11 土 📖 頓原中授業公開日・PTA総会
💧 地元の山ハイキング!(衣掛山・武名ヶ平山)
- 12 日 💧 ぼたんまつり(赤名観光ぼたん園周辺)
- 13 月
- 14 火
- 15 水 📖 小学校陸上大会
+ ほっと。Café【ベビーマッサージ】(保健福祉センター)
- 16 木 + 1歳6カ月児・3歳児健診(保健福祉センター)
- 17 金
- 18 土 📖 赤来中授業公開日・PTA総会
- 19 日 💧 おはなし会【英語で楽しもう】(中央図書館)
💧 しまね家庭の日
- 20 月
- 21 火
- 22 水 + ほっと。Café(食講座【離乳食】)(来島保健センター)
- 23 木 📖 小学校修学旅行<～24日>
- 24 金
- 25 土
- 26 日 ✨ ハイブリッドウインドオーケストラコンサート(来島交流センター)
- 27 月
- 28 火
- 29 水 + ほっと。Café(来島保健センター)
- 30 木
- 31 金

💧 はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制
💧 国民健康保険料納期限 💧 固定資産税納期限
💧 後期高齢者医療保険料納期限



「数年前から趣味は釣り」と伊藤さん。魚との駆け引きは相手の心や行動を読む力、忍耐強さが身に付き、仕事にも好影響。「波の音を聞き、仲間との会話を楽しむ時間でもあります。ストレスを溜めないことが大切。私生活も楽しんでいます」と話していました

出雲そばの老舗として、山陰を中心に11店舗を展開する(株)一福。昨年、創業百年を迎えた同社の常務取締役として、経営に携わるのが伊藤吉史さん(46歳)です。

「ルーツ いいなん 33」
このまちに住んでいようと、なからうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介し、今登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

学び続けること

「高校に進学せず、都会で生活していましたが、生活が合わずに帰ろうとしていたところでした」と伊藤さん。下働きから修業がスタートしました。

1年間町内の店舗で修業後、松江市の店舗に勤務することになった伊藤さん。その後は20歳の若さで店長に就任しました。年上の従業員や高校生のアルバイトなど、さまざまな立場の従業員と働く中で、経営の重要性を痛感した伊藤さん。若いときから店舗を任せてもらったことで、学ぶ機会になりました」と話します。

働きだして30年になる伊藤さん。今のモチベーションは「経営力の向上」なの



いとう よしみ
伊藤 吉史

飯南町頓原出身。頓原中卒業後、都会で生活。1年後Uターンし、(株)一福に入社。店長等を歴任し、現在は同社の常務取締役。私生活では釣りを楽しむ2児の父(松江市在住)

だそう。「38歳で取締役になってから、経営に對しての勉強を本格的にするようになりまして」と話します。「時代の流れや顧客のニーズの変化に對して会社を大きくしていきたい」と続けます。「スタッフとその家族の生活を守る使命がありますから」。今後も自らが率先して学び続けます。

「松江や出雲の店舗で飯南町のアピールもしています」と伊藤さん。お客さんとの会話で飯南町が話題になることもあるそう。「会社の発展が飯南町への貢献になればうれしいです」と話しています。

【いいしクリーンセンター】 ☎72-9217

令和6年5月のごみ収集日は3月の自治区文書で配布した「令和6年度ごみの収集カレンダー」をご確認ください。

雲南夢ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。

[雲南市・飯南町事務組合ホームページ](#)

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	7日(火) 9日(木)
赤名	20日(月) 22日(水)
来島	13日(月) 15日(水)

[クリーン(株)] ☎72-1401(頓原地域)
[クリーン(株)] ☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を必ずお守りください。



スマホで広報誌を読みませんか

飯南町公式SNS

マチイロ

町の人口 4,392人(前月比-58人) 世帯数1,978戸 R6.4.1 現在